

「バリアフリー2014(慢性期医療展2014)」 に参加して

ヘルスケア・プロジェクト 高橋 弘章

2014年4月17日(木)~19日(土)にインテックス大阪(大阪府大阪市)にて、「バリアフリー2014」(同時開催;慢性期医療展2014)が開催され、今年度は357社が出展されていました。また、開催3日間でのべ96,005名(慢性期医療展では5,067名)が参加され、医療従事者、一般消費者、企業の購買担当者等々が展示品に触れながら出展者と意見交換をされておられました。

参加企業の中には、中部経済産業局補助事業において弊社とお付き合いのある株式会社タナック様(岐阜県岐阜市)がシリコン製品を中心にご出展をされていました。タナック様は2013年のHOSPEX Japanの出展を機に、展示会活用の成功体験も得ておられます。今回も新たな試作品を展示され、商談機会を設計しておられました。棚橋社長からは、「お客様の事を真摯に考えた『ものづくり』を続けることだけです」との話でした。この強い思いが顧客ニーズにマッチした商品の企画・提供につながり、「早く見てもらいたい!」との提案スピードと相まって、顧客に『感動』を起こしておられます。お客様や関係者に愛される企業づくりが根底にあるからこそ、お客様の「感動」に繋がっていると再認識しました。

出典;タナック様 ホームページ <http://www.k-tanac.co.jp/index.shtml>



◆展示会風景と内臓・舌などのシリコン製品◆

展示会出展時には、毎回新たな試作品を展示され、医療従事者等の声を収集されておられます。

右側写真の中段は、肝臓の模型になります。実際の生体データを基に作られており、同社の新素材「メテ化ユルゲル」で肝臓の柔らかさ・弾性を再現していました。

実物に一步でも近づくことが、医療従事者の手助けになると日々取り組んでおられます。

【イベントのご紹介】

今回、株式会社十六銀行、株式会社十六総合研究所、株式会社日本能率協会コンサルティング、一般社団法人日本能率協会共同主催による「医療機器・福祉用具参入セミナー ~業界への接点づくりに向けた展示会の活用法~」を開催します。本セミナーは十六銀行様グループと展示会(見本市)の活用について知見をもつ日本能率協会グループが医療機器・福祉用具業界に参入するために展示会(見本市)をどのように活用すればよいか、具体的な方法についてセミナー形式でご説明します。是非、ご参加ください。

- 開催日時 平成26年5月13日(火) 13:30~16:30(入場13:00)
- 会場 名古屋銀行協会 5階大ホール
(愛知県名古屋市中区丸の内2丁目4番2号)
- 対象 医療機器・福祉用具への参入についてご興味のある方、知識を深めたい方
- 参加料・定員 無料・150名様(先着順)
- お申込み方法 下記、十六銀行様のホームページからご覧ください
<http://www.juroku.co.jp/16bank/info/seminar/iryou.shtml>

